

大分市立上野ヶ丘中学校 学力向上プラン1（8月）

学校教育 目標	志高く「凜として」生きていく生徒の育成
育成を目指す 資質・能力	学びを深める力の育成 【主体的な問い】【対話と協働】【深い理解・自己調整】

	学力状況について	学習状況について
児童 生徒 の 課題	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 どの教科とも、平均正答率が全国値を上回っている。 2年生数学の記述の形式の正答率が、全国平均を上回っているが、あまり高くない。	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 生徒質問調査において、ほぼ全国のポイントより高くなっている。 小中一貫教育3校共通アンケートの結果も肯定的回答の割合が高い。
	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から) ・自分の考えや思いを全体の前で表現できる生徒が少ない。 ・話し合い活動など意見交流の場面での自己表現や進行などの定着がまだ浅い。 ・学力差が大きく、下位層の生徒の学習意欲の向上に課題がある。	
指導 の 状況	1 組織的な授業改善の取組状況 ・「上中スタンダード」の学習規律、学習環境の維持・向上については、学習委員会の活動等を通して生徒が意識して実践できている。 ・各教科において、日常生活や社会の身近な事象を題材にすることや、目的を明確にした話し合い活動を実践することで、表現力や探究力につなげるよう取り組んでいる。 2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況 ・夕学習や家庭学習等、購入しているテキスト等を活用し、基礎・基本の定着を図る取組を実施している。 ・個人のニーズに応えるために、定期考査前の質問教室等、個別指導を行っている。 ・自分の考えを表現できるよう、月に一回程度、人間関係づくりプログラムを計画し、実施している。	

学力に関する達成指標

- ・各種学力調査における全ての教科で平均点や正答率が全国平均以上や県平均以上、市平均以上を目指す。
- ・定期テスト等で正答率80%以上の生徒の割合40%以上、40%未満の生徒の割合12%未満を目指す。
- ・「一人1台端末の活用や意見交流をすることによって、自分の考えを広げたり、深めたりすることができた」90%以上

	【授業改善】	【家庭・地域との協働】
今後の 具体的 な取組	〈授業改善のテーマ・重点〉 (テーマ)主体的に問いを立て、対話で深め、振り返りを通して学びを広げる生徒の育成 (重点)【問い・対話・自己調整】を連動させる授業づくり	
	〈取組内容〉 ①「上中スタンダード」の推進 ・生徒会活動とのタイアップ ②基礎・基本の定着(家庭学習の充実と課題提出の徹底+個別指導の充実) ・長期休み中や放課後の補充学習	〈家庭・地域の取組内容〉 ①家庭学習のあり方の啓発 ②通信等での発信、共有
	〈取組指標〉 ①学習委員会の毎月の重点活動の実施 ②定期考査前の質問教室の実施	〈家庭・地域の取組指標〉 ①入学説明会や新入生ガイダンスで説明 ②HPでの情報発信、学年通信等の発行
	〈検証指標〉 ・「授業で学んだことを家庭学習や夕学習によって定着できた」の項目で肯定的な回答90%以上	〈家庭・地域の検証指標〉 ・わが子の家庭学習の習慣化(保護者の肯定的回答90%以上)
	【授業改善以外の学力向上の取組】 ○小中一貫教育を通じての学び方改善 ①中一ギャップなど生徒の小中の情報交換や生徒アンケートの実施 ②3校合同アンケートにおける児童生徒の実態把握と課題解決に向けた方策の検討 ③学校生活・基本的生活の指導の共通化 ○積極的な生徒指導・支援を行い、不登校・不登校傾向の予防（個別指導にて早期解決を図る。）	